

巻頭言

地域社会の中で起りつつある

現代の諸問題に焦点を当てて

イギリスでコミュニティ・ケアを研究しているベイリー (Michael Bayley) は、「地域社会の外でのケア」から「地域社会の中でのケア」に向い、そしてこれからは「地域社会全体でのケア」の時代という区分をしましたが、現代の社会福祉は地域社会から目をそらすことができないばかりか、地域を拓かねばならない時です。

「施設から出た人々が、地域で疎外されて再び施設に戻ってくる。入所施設の全廃は、地域社会への挑戦を必要とする。われわれは、それを始めたばかりだ。」カナダのブリッティシュ・コロンビア州政府は、1991年度をもって障害者の入所施設を廃止する計画を10年がかりで進めてきました。そして、これを達成できず、計画は1995年春まで延期されるという事態の中で聞かされた言葉です。さらに、障害の重い人達よりも、軽い人達が地域社会で排斥される、とも。

本年度の学科機関誌「社会福祉」33号では、そうした地域社会で発生する諸問題と対応策を求めて、「地域福祉～現代の課題」をメインテーマとした特集が組まれました。

この機関誌は、最新の研究を教員が執筆し、特に教材としても使用できることを含めた編集方針が執られました。ご一読の上、多方面からのご教示を頂きたいと存じます。また、学生諸君も熟読され、講義を深く理解し論議するための一助にしたいと念願します。

(社会福祉学科主任 谷口政隆)